

令和3年度
事業計画書



社会福祉法人清章福社会

令和3年度 事業計画書目次

社会福祉法人清章福祉会	1-11
特別養護老人ホーム清住園	12-13
地域密着型特別養護老人ホーム清住園	14-15
清住園ショートステイサービス	16-17
清住園デイサービスセンター	18-19
清住園第二デイサービスセンター	20-21
エルグラン清住園デイサービスセンター	22-23
五軒邸清住園デイサービスセンター	24-25
清住園訪問看護ステーション	26-27
居宅介護支援事業所清住園	28
姫路市四郷・東地域包括支援センター	29-30

社会福祉法人清章福祉会

中・長期 事業計画

社会福祉法人清章福祉会
特別養護老人ホーム清住園
令和3年4月1日

理念

おもてなしの心で介護
ご利用者の立場で介護
清潔な環境
地域との共生・貢献

運営方針

利用者の意志及び人格を尊重し、利用者の立場に立ってサービスの提供に努める。
明るく家庭的な雰囲気有し、地域や家庭との結びつきを重視した運営を行う。
他の保健・医療・福祉サービスとの連携を努める。

中・長期事業計画策定のビジョン

団塊の世代の多くが後期高齢者になる2025年には年金・医療・介護の国家の財政的問題だけでなく、施設不足や人材不足が一層深刻になると予測される。そのため、地域の高齢者福祉に資する地域公益性の高い信頼される法人として活躍することを主眼に、中・長期事業計画を策定する。

1、中・長期事業計画の期間（2029年まで）

- 中・長期事業計画の実施は10年間とし、3年ごとに見直しを行うものとする。
ただし、関係法令の改定、介護報酬の改定があった場合はこの限りではない。
- 中・長期事業計画を実現するための具体的な事業計画は1年間とし、毎年度作成する。

2、中・長期事業計画の目標

長期目標（2029年まで）

- 地域で暮らす誰もが「清章福祉会に相談に行きたい」と思ってもらえる法人となる。
- 地域の高齢者の誰もが「清章福祉会のサービスを受けたい」と思ってもらえる法人となる。
- 福祉関係者の誰もが「清章福祉会で働きたい」と憧れをもってもらえる職場にする。

中期目標（2023年まで）

- 利用者ニーズ、地域ニーズの把握に力を入れ、地域における公益的な取組を推進し、医療と介護の連携を強化する。
- 利用者の個別ケアを推進し、顧客満足度を上げる努力をする。
- 人材確保および人材の育成のため、処遇改善やキャリアパスの整備など人事制度の抜本的見直しを積極的に行い、有能で熱意のある人材が当法人を目指すような職場環境の整備を行う。また地域における若年層・主婦層・団塊の世代等の潜在的労働力の確保に向けて取り組む。
- サービスの稼働率を高めることにより事業の安定を図り、法人の自立経営を促進する。

3、中・長期事業計画の内容

目標を達成するための重点項目として下記の5つを掲げ、基本内容を策定する。

- 1) 介護、生活支援サービスの充実
- 2) 専門性の高いケアの提供
- 3) 事業基盤の安定に向けた取り組みの推進
- 4) 人材確保・人材育成のための環境整備
- 5) 地域福祉の推進

<基本計画の内容>

1) 介護、生活支援サービスの充実

(1) 利用者の主体的な生活の実現

- 利用者の個別ケアを推進する。
- チームケアを向上させるための取り組みに向けて部署内で研鑽する。
- 報告・連絡・相談の徹底を図り顧客満足度を上げる努力をする。

(2) 食事サービスの充実

- 利用者に喜ばれる食事サービス（イベント食も含む）を検討する。
- 季節感溢れる「おやつ／食事レクリエーション」を実施。

(3) サービス内容の標準化

- 各種マニュアルの見直しを3年ごとに実施し活用する。
- 各部委員会の活動を活発化し職員の意識を向上させる。

(4) 地域包括ケアシステムの推進

- 包括支援センター・居宅を中心とした地域包括ケアシステムの担い手となる。
- 在宅ケアから施設ケアへ統一したサービスの流れを法人内で構築する。
- 訪問看護ステーションを中心とした「むらの保健室」事業を実施する。

2) 専門性の高いケアの提供

(1) 認知症ケアの充実

- 認知症ケアを推進する介護職員のスキルアップを図る。
- 認知症に関する相談・調整機能の充実ため、相談業務のスキルアップを図る。

(2) 医療ケアの充実

- 看取りケアを充実させ、最期まで法人で看取ることができるようにする。
- 介護職員による喀痰吸引体制を構築するため資格取得を援助する。
- 訪問看護ステーションと連携し、介護度の高い在宅介護をサポートする。

(3) リハビリテーションの充実

- 機能訓練のシステムを強化する。
- 効果的なリハビリテーションを実施するための環境整備をする。

3) 事業基盤の安定に向けた取り組みの推進

(1) 各事業の事業目標・指針を明確にし、健全な事業運営の徹底

- 各事業の事業目標・指針を明確にし、理事会・評議員会にて承認を得る。

- 法人組織を強化し、組織統治（ガバナンス）を確立する。
 - 健全な事業運営に努める。
- (2) リスクマネジメント・危機管理体制の強化
- リスクマネジメント体制を整備し、ローリスクを心がける。
 - 危機管理体制を整備し、安全安心の施設運営を目指す。
- 4) 人材確保・人材育成のための環境整備
- (1) 人材確保のための環境整備
- 高賃金体制を整え、職員の収入の安定を図る。
 - 職場環境の見直しによる業務の効率化を図る。
 - ライフワークバランスを踏まえた労働環境を整備し、働きやすい職場にする。
 - 職員のメンタルヘルスケアを充実させる。
 - 福利厚生を充実させる。
 - 無資格者・高齢者の雇用を推進する。
- (2) 人材育成のための環境整備
- キャリアパスを含む職員育成制度を確立する。
 - 人事制度の抜本的見直し
 - 運営の中核を担う人材及び管理職の育成
- (3) 外国人労働者の雇用を促進する。
- 外国人が働きやすい環境を整備する。
清住園寮としてアパートを借り上げ提供する
介護技術のチューター制度（既存）を充実させる
 - 登録支援機関と円滑に関係を結び、より良い人材を確保できるようにする。
- 5) 地域福祉の推進
- (1) 地域の多様な福祉ニーズへの対応
- 潜在的な福祉ニーズを聞き取り、ニーズに合わせた福祉サービスを提供する。
 - 各部署で協力し合い、多様な福祉ニーズに法人全体で対応できるようにする。
- (2) 地域公益事業の推進
- 「知事認定地域サポート施設」となり地域公益活動事業を積極的に実施する。
 - 地域住民が主体的に取り組む活動を支援する。
- (3) 防災拠点としての機能強化
- 福祉避難所の準備と運営のシミュレーションをする。
 - 地域との協働による防災拠点として整備する。

令和3年度（2021年度）の事業計画

法人目標

- ① 「利用者と共に生きる」スタンスを大切にし、ホスピタリティに努める。
- ② 新型コロナウイルス感染予防を中心としたリスクマネジメント体制の強化。
- ③ 研修・委員会に主体的に参加し活動する。

事業目標（財務の視点）

- ① 新型コロナウイルス感染症の予防に努め、安定した運営を維持する。
- ② コロナ禍に影響されない利用者の確保など、既存に囚われない集客方法を考える。
- ③ ショート・デイ・居宅の連携を図り、ショートの稼働率を安定させる。
- ④ 2021年度介護報酬改定を研究し、最大限の加算取得を目指す。
- ⑤ 各部署で毎月の収支報告を確認し、稼働率の向上とコスト削減に努める。

基本方針

- ① 新型コロナウイルス感染症予防の為、下記の対策を取る。
 - 感染症予防対策を徹底して利用者の安全を図る。
 - ショートステイと施設入所者の居住ゾーンを区切り、施設入所者への感染蔓延を予防する。
 - 従来型特養4室（12床分）を陰圧室に改修工事し、感染者が出た場合でも隔離できるような体制を整え、施設内のクラスター化を防止する。
 - 給食システムを業務委託から完成食材購入による直営化に切り替え、厨房職員が感染した場合でも安定した食事提供ができるシステムにする。
- ② 社会福祉法人として、利用者にとっての価値（利用価値）・社会や地域にとっての価値（社会的価値）・職員からみた価値（所属価値）の3つの価値を念頭に、バランス良く運営する。
- ③ 社会の変動に対応できる法人にするため、在宅・医療サービスへの参入を強化し、積極的に事業の多角経営化を推進する。
- ④ 姫路市街地事業の推進と拡大を図る。

令和3年度（2021年度）「地域における公益的な取り組み」実施計画

（ただし、新型コロナウイルス感染症予防のため実施できない場合もある）

1、地域高齢者への介護予防支援

- ・「いきいき百歳体操」の会場として多目的ホールを提供（週2回、地域高齢者20名程度）
- ・清住園訪問看護ステーションの看護師と自治会が協力し合い「むらの保健室」を開催

2、地域住民との防災訓練および発災時の福祉避難所の準備

- ・地域住民参加の防災訓練を企画
姫路東消防署飾東出張所・地域住民の参加を呼びかけ合同で防災訓練を実施
消防署員による防災研修会を開催
清住自治会役員と清住園防災委員会による発災時の協力体制検討会を開催
- ・福祉避難所設立準備（清住園防災委員会）
備蓄食料の確保
発災時の給食提供方法の確認
発災時の連絡体制の整備

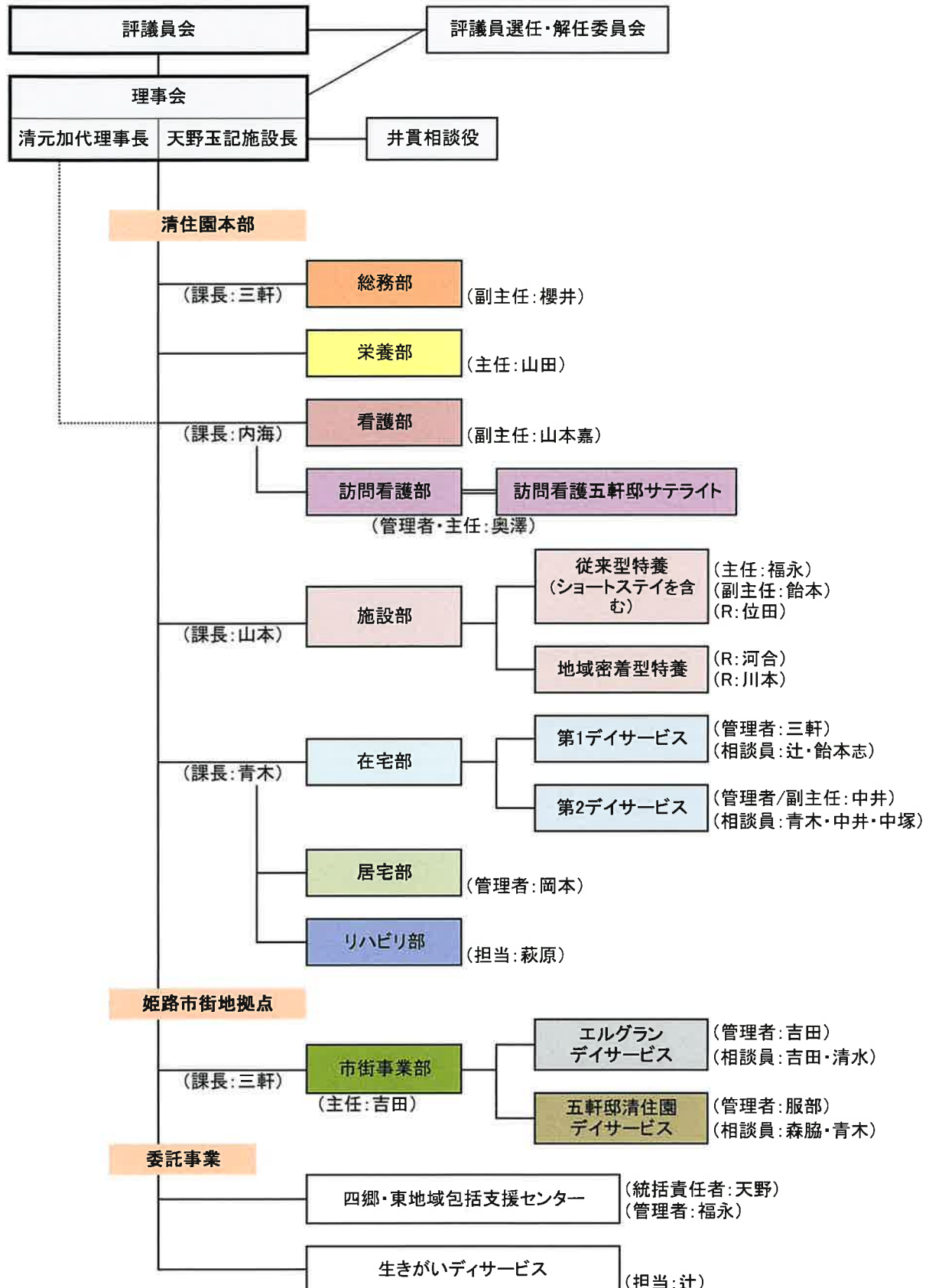
3、地域の人材育成および啓蒙活動

- ・介護実習生の受け入れ
- ・トライやるウィークの受け入れ

4、地域行事への参加および地域住民との交流

- ・清住盆踊り（令和3年8月14日）：清住自治会主催
特養入所者およびショートステイ利用者と共に参加
合同花火大会を清住園家族会と清住自治会で共催
- ・清住園ふれあい祭り：法人主催
地域自治会と共に地域住民の祭りとして開催
みどり保育園・谷内小学校・城山中学校の生徒によるボランティア参加
谷内公民館活動グループのボランティア参加
谷内消防団による駐車場誘導および模擬店運営
自治会役員を来賓として招待
参加者全員対象の抽選会を開催
- ・清住ゑびす祭りに協力（令和4年1月10日）：清住自治会主催
祭りの協賛金の募集に協力をする
ゑびす祭りに参加
- ・とんど焼きに参加（令和4年1月吉日）：清住自治会主催
特養入所者およびショートステイ利用者と共に参加
- ・小学校・中学校の生徒との交流会
- ・施設内行事の広報および参加を呼び掛ける

清章福祉会組織図（2021年度）



<会議>

会議名	内容	頻度	参加者
職員会議	全職員対象研修の実施	月1回	全職員
リーダー会議	各部署予定・収支等の議題検討	月1回	各部署リーダー
幹部会議	運営に関する議題検討	月1回	管理職
従来型 ケアスタッフ会議	情報共有・検討	月1回	施設部職員
ユニット ケアスタッフ会議	情報共有・検討	月1回	施設部職員
デイ会議	予定・議題検討	月1回	在宅部職員
第二デイ会議	予定・議題検討	月1回	在宅部職員
エルグランデイ会議	予定・議題検討	月1回	エルグラン職員
居宅会議	情報伝達・勉強会	週1回	居宅部職員
総務部会議	情報共有・検討・勉強会	月1回	総務部職員

<委員会>

委員会名	内容	頻度
身体拘束適正化検討委員会	職員研修、アンケート集計、身体拘束者の記録点検、勉強会	2カ月に1回
褥瘡対策委員会	職員研修、事例対応策、発生時の現状と処置の周知	月1回
看取り介護委員会	職員研修、活動報告、看取り開始時の準備、カンファレンスの実施、意見交換	3カ月に1回
栄養委員会	献立検討、食事レク、行事企画、カンファレンス、意見集約	月1回
危機管理委員会	何でも報告書、ヒヤリハットの集計・分析、事例検討、事故発生場所の把握・対応	月1回
感染症対策委員会	職員研修、感染対策マニュアルの改訂	3カ月に1回以上
衛生委員会	労働環境の整備、安全パトロール、職員健康管理、労働災害防止対策	月1回
防災委員会	防災機器の点検、避難訓練、緊急連絡網の整備	随時
広報委員会	広報ほほえみ作成、ホームページの管理、ブログ更新	3カ月に1回
研修委員会	年間研修計画の立案、職員研修講座の運営・管理、職員会議の研修企画、研修アンケートの集計・分析	月1回

新卒採用委員会	合同企業説明会の企画・参加、施設内説明会の企画・参加、学校挨拶まわり、新卒ナビサイト管理、採用ツールの見直し	随時
サービス向上委員会	ホスピタリティの向上、接遇、業務改善、アンケート集計	月1回
事故・苦情対策委員会	事故・苦情内容に関する報告・対策	年1回
入所判定委員会	入所の検討・決定	月1回

<研修>

研修講座	対象者・内容	頻度
新人研修	新卒採用者・(下半期)中途採用者を対象	4月
中途採用者研修	(上半期)中途採用者を対象	10月
接遇研修	全職員	年5回
医療研修	全職員	年5回
認知症研修(施設)	施設部(2F)所属の職員	年5回
認知症研修(在宅)	在宅部(1F)所属の職員	年2回
ビジネスマナー	全職員	年2回
リスクマネジメント研修	全職員	年2回
コミュニケーションスキル向上研修	全職員	年1回
アンガーマネジメント研修	全職員	年1回
ストレスマネジメント研修	全職員	年1回
コーチング技術研修	全職員	年1回
雇用管理研修	全職員	年1回
パソコンスキル研修	全職員	年3回
体操・ストレッチ	全職員	年1回
ヒューマンスキル研修	全職員	年2回
精神疾患対応研修	全職員	年2回
リハビリ研修	全職員	年2回
リーダーシップ研修	管理者・部署長・管理職	年2回
人材育成研修	管理者・部署長・管理職	年2回
介護技術研修	全職員	随時

総務部

1. 基本方針

地域に信頼される法人として活躍するために関係法令を遵守し、積極的に情報公開を行い、働きがい・働きやすい職場作りを推進し、情報発信をしていく。各事業との連携を密にし、各種管理業務の体制強化に努める。

2. 令和3年度目標

<部署目標>

- ・法人内外の情報収集・伝達・調整・発信
- ・コストの見える化
- ・各事業の業務支援

<経営目標>

- ・各事業の情報収集、分析により経営効率を高める
- ・各事業所の営業、PR活動を支援し、利用者獲得につなげる
- ・働き方改革の推進による職場環境の整備

<人材育成>

- ・業務担当を改めることにより、個々の業務の幅を拡げてスキルアップにつなげる
- ・OFF-JT、OJTを通して部署全体で新入職員を育成する

<地域福祉活動>

- ・地域の方が施設設備を気軽に使用できるように広報活動を行う
- ・防災対策を強化し、非常時の福祉避難所拠点であることを周知していく

3. 主な施設整備・修繕・備品購入等

ドライブレコーダー設置費用	1,000,000 円
施設床面共有部清掃費用	700,000 円
施設内クロス張替工事	120,000 円
除湿器 2 台	140,000 円

栄養部

1. 基本方針

- 給食システムを業務委託から完成食材購入による直営化に切り替え、安定した食事提供ができるシステムにする。
- 日々利用者の情報を集めながら他職種と共に、健康状態の維持・改善に向けて取り組むまた、入所者一人ひとりのアセスメントを行い、栄養ケアマネジメントを作成

2. 令和3年度目標

<部署目標>

- ・日々の利用者の変化に対応した栄養管理を行う
- ・他部署との連携を強化し、信頼関係を築く
- ・給食管理を円滑に行う

<経営目標>

- ・円滑な入所になるように努め、安定した介護報酬の確保を図る
- ・病院との連携を図り、円滑な退院を目指す

<人材育成>

- ・食を通じて栄養管理、コミュニケーション、食知識を伝えていく

<地域福祉活動>

- ・福祉避難所としての備蓄食料の管理

3. 主な施設整備・修繕・備品購入等

グリストラップ清掃	年2回	92,000円
ロッカー		98,000円
貯米庫		130,000円

リハビリ部

1. 基本方針

利用者の全体像を把握して、在宅での生活機能の維持・向上をめざし各種機能訓練計画を作成し、提供する。

2. 令和3年度目標

<部署目標>

- ・利用者及び家族から機能訓練に対する意向や希望等の情報を収集し、在宅での生活機能向上に向けて在宅部多職種協同・連携し運動器機能向上及び個別機能訓練を計画・実施する。
- ・円滑で効率的に加算算定が行えるように他部署との情報交換や連携を図る。

<経営目標>

デイサービス利用者において、理学療法・作業療法・音楽療法・物作り教室等の療法に意欲的に参加することがデイサービスを利用する目的の一つになるように各種療法の内容を充実させる。

第一デイ

- ・原則、運動器機能向上加算及び個別機能訓練加算の利用者全員算定に向けて、居宅訪問を含めたアセスメント、計画作成、実践、評価を効率よく行う。
- ・小集団での機能訓練を導入し、訓練時間の効率化を図りつつ加算算定者の増員を図る

第二デイ

- ・在宅生活が継続できるよう、身体機能、認知症進行予防を念頭に個別での集中した機能訓練を行い、生活機能の維持向上を図っていく。

<人材育成>

- ・職員全員が身体機能の維持・向上、介護予防の視点を持って利用者に介護・支援が行えるようになる。

<地域福祉活動>

- ・地域の方々や訪問者などに対してリハビリ部の活動内容を紹介する。

3. 主な施設整備・修繕・備品購入等

マルチホームトレーナー	2台	56,000円(税別)
小型ペグボードセット	1台	18,000円(税別)

特別養護老人ホーム清住園

1. 運営方針

利用者の意志及び人格を尊重し、利用者の立場に立ってサービスの提供に努める。明るく家庭的な雰囲気を作り、地域や家族との結びつきを重視した運営を行い、他の保健・医療・福祉サービスとの連携に努める。

2. 令和3年度目標

<部署目標>

○施設

- ・利用者の想いに添った介護を目指し、業務改善を推し進める
- ・報告・連絡・相談を徹底し、家族や職員間のコミュニケーションを密にする
- ・新型コロナウイルス感染症等の予防に努める

○看護

- ・利用者の健康管理・事故防止に努め利用者の生活を守る
- ・他部署・提携病院との連携を図る
- ・利用者・家族との連携を密にし、終の棲家としての役割を果たす（看取りの充実）
- ・新型コロナウイルス等の感染症対策を実施し集団感染を未然に防ぐ

<経営目標>

- ・円滑な入所に努めることにより安定した介護報酬の確保を図る
- ・安定的な介護報酬の確保に向けて、減収の原因となる入院者を減らすために、他職種協働で日常の健康管理を徹底する
- ・入院が短期間となるように協力病院と連携し、年間平均稼働率 **94%**を目指す

<人材育成>

- ・年間を通じて計画的に施設内研修や外部研修に積極的に参加し、職員個々の介護技術や知識の向上を図る

<地域福祉活動>

- ・感染症予防を徹底しボランティア及び実習生等の受入を行う
- ・地域の方々や家族などに対して園内行事への参加を呼びかけ、施設を開放し地域との連携を深める（新型コロナウイルス感染症の状況を考慮して実施）

3. 年間行事・行事食予定

月	年間行事
4月	花見
5月	父母の会、家族会総会
6月	外出（喫茶）
7月	そうめん流し
8月	夏祭り
9月	敬老会
10月	外出（コスモス鑑賞）
11月	ふれあい祭
12月	クリスマス会
1月	おせち、正月行事
2月	節分（豆まき）
3月	外出（喫茶）
備考	ボランティア行事（不定期） 買い物ツアー（不定期） 誕生日会（毎月） 書道クラブ（毎月） 園芸療法 ※上記予定については、新型コロナウイルス感染症の予防の観点から 中止する場合があります

4. 主な施設整備・修繕・備品購入等

特になし

地域密着型 特別養護老人ホーム清住園

1. 運営方針

利用者の一人一人の生活習慣や好みを尊重し、利用者の生活に沿ったケアの提供に努める。明るく家庭的な雰囲気を作り、地域や家族との結びつきを重視した運営を行い、他の保健・医療・福祉サービスとの連携に努める。

2. 令和3年度目標

<部署目標>

○施設

- ・入居者一人ひとりに合わせたケアと余暇活動の充実を図る。
- ・報告、連絡、相談を徹底し職員間の情報を共有する。
- ・新型コロナウイルス感染症等の予防に努める。

○看護

- ・利用者の健康管理・事故防止に努め利用者の生活を守る
- ・他部署・提携病院との連携を図る
- ・利用者・家族との連携を密にし、終の棲家としての役割を果たす（看取りの充実）
- ・新型コロナウイルス等の感染症対策を実施し集団感染を未然に防ぐ

<経営目標>

- ・安定的な介護報酬の確保に向けて、減収の原因となる入院者を減らすために、他職種協働で日常の健康管理を徹底する。
- ・入院が短期間となるように努めることにより年間平均稼働率 95%を目指す。

<人材育成>

- ・年間を通じて計画的に施設内研修や外部研修に積極的に参加し、職員個々の介護技術や知識の向上を図る

<地域福祉活動>

- ・ボランティア及び実習生等の受入を積極的に行う。
- ・地域の方々や家族などに対して園内行事への参加を呼びかけ、施設を開放し地域との連携を深める。（新型コロナウイルス感染症の状況を考慮して実施）

3. 年間行事・行事食予定

月	年間行事
4月	花見
5月	父母の会 家族会総会
6月	外出
7月	七夕
8月	夏祭り
9月	敬老会
10月	外出 (各地域秋祭り コスモス)
11月	ふれあい祭
12月	クリスマス会 忘年会
1月	正月行事
2月	節分(豆まき)
3月	外出
備考	ボランティア行事 (不定期) 外出 (喫茶 買い物) 誕生日会 ※上記予定については、コロナウィルス感染症の予防の観点から中止する場合があります

4. 主な施設整備・修繕・備品購入等

個枠メンテナンス費用

600,000 円

清住園ショートステイサービス

1. 運営方針

利用者の意志及び人格を尊重し、利用者の立場に立ってサービスの提供に努める。明るく家庭的な雰囲気を有し、地域や家族との結びつきを重視した運営を行い、他の保健・医療・福祉サービスとの連携に努める。

2. 令和3年度目標

<部署目標>

○施設

- ・利用者の想いに添った介護を目指し、業務改善を推し進める
- ・報告・連絡・相談を徹底し、家族や職員間のコミュニケーションを密にする
- ・新型コロナウイルス感染症の予防に努める。

○看護

- ・利用者の健康管理・事故防止に努め利用者の生活を守る
- ・他部署・提携病院との連携を図る
- ・利用者・家族との連携を密にし、終の棲家としての役割を果たす（看取りの充実）
- ・新型コロナウイルス等の感染症対策を実施し集団感染を未然に防ぐ

<経営目標>

- ・安定した利用者の確保と年間平均稼働率（日中）90%を目指す
- ・新規利用者の受け入れ体制の構築と各部署との連携
- ・胃瘻等の重度利用者の受け入れを行い利益率の向上を図る

<人材育成>

- ・相談員の育成の為、チューター制度を活用することでスキルアップを目指す
- ・年間を通じて計画的に内部研修や外部研修を継続して実施し、職員個々の介護技術や知識の向上を図る
- ・職員が自発的に考え行動に移せる環境を整える

<地域福祉活動>

- ・地域行事に参加し、相談しやすい環境を整える

3. 年間行事・行事食予定

月	年間行事
4月	花見
5月	父母の会、家族会総会
6月	外出（喫茶）
7月	そうめん流し
8月	夏祭り
9月	敬老会
10月	外出（コスモス鑑賞）
11月	ふれあい祭
12月	クリスマス会
1月	おせち、正月行事
2月	節分（豆まき）
3月	外出（喫茶）
備考	ボランティア行事（不定期） 買い物ツアー（不定期） 誕生日会（毎月） 書道クラブ（毎月） 園芸療法 ※上記予定については、新型コロナウイルス感染症の予防の観点から 中止する場合があります

4. 主な施設整備・修繕・備品購入等

従来型に準ずる

清住園デイサービスセンター

1. 運営方針

在宅の虚弱老人、要介護老人、認知症老人に対して通所により、入浴・食事の各種のサービスを提供し、老人の自立的な生活に対する援助、社会的孤立感の解消に努め、心身機能の維持向上を図ると共に家族の方の精神的、身体的負担の軽減を図る。

2. 令和3年度目標

<部署目標>

- ・居宅介護支援事業所、地域包括支援センターとの連携を図りつつ、現行サービスの改革を進め、介護予防を取り組んだ質の高いサービスを提供していくよう努める。
- ・外部の移動販売事業等を誘致し、積極的な社会的活動を行い生活機能の向上を図る。
- ・個別機能訓練・運動器機能向上の充足を図り、心身共に充実できるサービスを提供することで、利用者満足度と介護予防の両立に努める。

<経営目標>

- ・営業活動を積極的に行い新規利用者の獲得を図りつつ、第二・五軒邸・エルグランへの移行にも柔軟に対応しながら、売上の向上に繋げる。
- ・作業療法を始めとしたリハビリサービスの拡大の推進を図ることを内外に周知するとともに、リハビリ部と連携しPDCAサイクルの体制強化に努める。
- ・利用者及び利用者家族に積極的な利用をして頂けるように報告・連絡・相談を密に取り信頼関係を構築する。受け入れ体制を円滑に行えるよう各部署との連携を図る。
- ・各種行事予定の企画、利用者への呼びかけを随時行い、追加利用をお勧めする。
- ・運営日数

区分	予定日数	運営曜日	運営時間
基本事業	259	月～金(除:土日・年末年始 12/31～1/3)	9:30～15:00
予防通所 介護事業	入浴	259	月～金(除:土日・年末年始 12/31～1/3)
	運動器機能向上	259	月～金(除:土日・年末年始 12/31～1/3)
	給食	259	月～金(除:土日・年末年始 12/31～1/3)
通所介護 事業	入浴	259	月～金(除:土日・年末年始 12/31～1/3)
	給食	259	月～金(除:土日・年末年始 12/31～1/3)
	個別機能訓練	259	月～金(除:土日・年末年始 12/31～1/3)

運営規模：通常規模型（月延べ人数が301人～750人まで）

利用者定員：40名

○稼働率

- ・平均30名以上 月平均 75%稼働率

○営業活動

- ・月初めに関係居宅事業所へ実績を持参し訪問を行い、利用者空白・少数地域（加西市、神吉町、志方町等を重点に置く）の居宅事業所への営業訪問活動を行う。

- ・毎月、月初めに翌月のカレンダーを盛り込んだ「空き情報」のチラシを地域の居宅事業所への郵送を行う。
- ・定期的に当事業所の営業用の広報新聞等を更新し各事業所への営業訪問を行う。

<人材育成>

○相談員

- ・年間を通じて計画的に外部研修へ参加し、同じ部署の相談員へも積極的に振り返り報告を行い、相談援助技術・知識の向上を図る。
- ・月一回の相談員会議で、介護保険の動向や各種加算内容の理解等を図っていく。

○看護・介護職員

- ・年間を通じて計画的に内部研修を行い、感染症対策、専門的技術・知識の向上を図る。

<地域福祉活動>

- ・ボランティア及び実習生の受け入れを積極的に行う。
- ・谷内小学校交流学級との定期的な交流会を行う。
- ・地域住民との交流を図る為、移動販売などの企画をし、施設の開放を行う。

3. 年間行事・活動予定 ※新型コロナウイルス感染予防の為に変更の可能性あり

月	年間行事	行事食
4月	花見会、花見喫茶、花見ドライブ	花見弁当
5月	新緑ドライブ	行楽弁当
6月	紫陽花鑑賞ドライブ、トライやるウィーク	おはぎ
7月	谷内小交流会（七夕）	七夕料理、そうめん流し
8月	夏祭り、ぶどう狩り（お盆）	うなぎ（土用の丑）
9月	敬老会	祝い膳、おはぎ
10月	コスモス鑑賞ドライブ、芋ほり	スイートポテト(さつま芋)
11月	紅葉ドライブ、干し柿	干し柿
12月	クリスマス会、忘年会	クリスマスケーキ
1月	初詣、絵馬作り、新年会	白玉ぜんざい
2月	節分、豆まき、梅鑑賞ドライブ	恵方巻き、バレンタイン
3月	雛祭り、菜の花鑑賞ドライブ	おはぎ
備考	買い物ツアー（随時）※12月～2月は休止 外食ツアー（春～秋）、喫茶ツアー（秋） 衣料販売（随時）、フラワーアレンジメント教室、絵手紙教室 地域ボランティア（随時）、移動パン販売まほろば、菜の花（クッキー、雑貨）	

4. 主な施設整備・修繕・備品購入等

畳の表替え 126,720円

清住園第二デイサービスセンター

1. 運営方針

在宅虚弱老人、要介護老人、認知症老人に対して通所により、入浴・食事の各種のサービスを提供し、老人の自立的な生活に対する援助、社会的孤立感の解消に努め、心身機能の維持向上を図ると共に家族の方の精神的、身体的負担の軽減を図る。

2. 令和3年度目標

<部署目標>

- ・利用者の重度化に対応する為に介護力の向上を図り、質の高い介護サービスが提供できるよう努め、安定した利用者数及び稼働率での営業を行っていく。
- ・リハビリ部と協同連携し、運動器機能向上加算及び個別機能訓練加算を通して、在宅での生活機能の維持向上を図る。

<経営目標>

- ・利用者及び利用者家族に積極的な利用をして頂けるように報告・連絡・相談を密に取り信頼関係を築き、各種プログラム作りや個別機能訓練の実施と受け入れ体制を円滑に執り行えるよう各部署との連携を図る。
- ・各種行事予定の企画、利用者への呼びかけを随時行い、追加利用をお勧めする。
- ・積極的な第1デイからの利用者移行、ショートステイサービスとの併用利用、サ高住の利用者の受け入れを行う
- ・重度利用者、医療看護が必要な利用者(在宅酸素、ストマ、胃瘻等…)を可能な限り受入れ、介護職・看護職が連携して適切な対応が行えるような組織作りを行う。

・運営日数

区分	予定日数	運営曜日	運営時間	
基本事業	310	月～土(除:日・年末年始 12/31～1/3)	9:30～17:00	
予防通所介護事業	入浴	310	月～土(除:日・年末年始 12/31～1/3)	10:00～15:00
	運動器機能向上	310	月～土(除:日・年末年始 12/31～1/3)	13:00～16:00
	給食	310	月～土(除:日・年末年始 12/31～1/3)	12:00～13:00
通所介護事業	入浴	310	月～土(除:日・年末年始 12/31～1/3)	10:00～15:00
	給食	310	月～土(除:日・年末年始 12/31～1/3)	12:00～13:00
	個別機能訓練	310	月～土(除:日・年末年始 12/31～1/3)	10:00～16:00

運営規模：大規模型(I) (月延べ人数が751～900人まで)

利用者定員：40名

○稼働率

- ・1日平均 33名以上 月平均 85%稼働率

○営業活動

- ・月初めに関係居宅事業所へ実績を持参し訪問を行い、利用者空白・少数地域(加西市、神吉町、志方町等を重点に置く)の居宅事業所への営業訪問活動を行う。
- ・毎月、月初めに翌月のカレンダーを盛り込んだ「空き情報」のチラシを地域の居宅事業所へ郵送を行う。

<人材育成>

○相談員

- ・年間を通じて計画的に外部研修へ参加し、同じ部署の相談員へも積極的に振り返り報告を行い、相談援助技術・知識の向上を図る。
- ・月一回の相談員会議で、介護保険の動向や各種加算内容の理解などを図っていく。

○看護・介護職員

- ・年間を通じて計画的に内部研修を行い、感染症対策、専門的技術・知識の向上を図る。

<地域福祉活動>

- ・ボランティア及び実習生の受け入れを積極的に行う。
- ・谷内小学校交流学級との定期的な交流会を行う。
- ・積極的に独居利用者や買い物難民利用者へ食材・生活用品配達サービスの支援を行う。

3. 年間行事・活動予定 ※新型コロナウイルス感染予防の為に変更の可能性あり

月	年間行事	行事食
4月	花見会(園庭)、花見喫茶、花見ドライブ	花見弁当
5月	セントラルパーク外出、新緑散策	行楽弁当
6月	紫陽花鑑賞、遠出外出	おはぎ
7月	谷内小学校交流会	うなぎ(土用の丑)
8月	夏祭り、そうめん流し	そうめん流し
9月	敬老会、遠出外出	敬老祝い膳、おはぎ
10月	セントラルパーク外出、コスモス鑑賞	スイートポテト(さつま芋)
11月	紅葉ドライブ、遠出外出	干し柿
12月	クリスマス会	クリスマスケーキ
1月	初詣、十日ゑびす	白玉ぜんざい
2月	節分、豆まき、梅見ドライブ	恵方巻き、バレンタイン
3月	谷内小学校交流会、遠出外出	おはぎ
備考	マジックショー(毎月) おやつレク(毎月) 創作レク(毎月) 絵手紙教室(毎月) 個別クラブ(随時)…カラオケ、クラフト、書道・写経、水彩画、囲碁、将棋 オセロ等 地域ボランティア(随時)	

4. 主な施設整備・修繕・備品購入等

特になし

エルグラン清住園デイサービスセンター

1. 運営方針

在宅虚弱老人、要介護老人、認知症老人に対して通所により、入浴・食事の各種のサービスの提供し、老人の自立的な生活に対する援助、社会的孤独感の解消に努め、心身機能の維持向上を図ると共に家族の方の精神的、身体的負担の軽減を図る。

2. 令和3年度目標

<部署目標>

- 一人一人の利用者様の意思を尊重し、「利用者本位」の実現を目指す。
- 職員間、他職種との連携とチームワークの強化を図る。
- OTによる様々な運動や作業プログラムを通して、身体の機能維持、日常での生活動作能力の向上を目指す。

<経営目標>

・運営日数

区分		予定日数	運営曜日	運営時間
基本事業		310	月～土(除:日・年末年始 12/31～1/3)	9:30～17:00
予防通所 介護事業	入浴	310	月～土(除:日・年末年始 12/31～1/3)	10:00～15:00
	運動器機能向上	310	月～土(除:日・年末年始 12/31～1/3)	13:00～16:00
	給食	310	月～土(除:日・年末年始 12/31～1/3)	12:00～13:00
通所介護 事業	入浴	310	月～土(除:日・年末年始 12/31～1/3)	10:00～15:00
	給食	310	月～土(除:日・年末年始 12/31～1/3)	12:00～13:00
	個別機能訓練	310	月～土(除:日・年末年始 12/31～1/3)	10:00～16:00

運営規模：通常規模型（月延べ人数が301人～750人まで）

利用定員 30名

・稼働率

- 1日平均 19.5名以上 月平均 65%の稼働率

・営業活動

- 利用者の近況状態や施設の取り組みなどを知ってもらうための訪問活動を定期的に行う。
- 紹介・見学・初回利用時などには担当ケアマネと密に連絡を取り、信頼関係の構築に努める。

<人材育成>

看護・OT・介護職員

- 内部研修を計画的に行い、「人が人を支援する」とはということなのかを考えられる職員の育成を行う。
- 感染症対策や防災対策など非常時でも慌てず対応できる職員の育成を図る。

<地域福祉活動>

- コロナ感染防止対策に努めながら、ボランティアの受け入れや訪問販売業者などの社会資源の選定や活用を行う。
- 街の福祉相談拠点となれるよう地域の会合に積極的に参加し、地域との結びつきを強化する。

3. 年間行事・活動予定 ※（新型コロナウイルスの感染状況次第で変更あります）

月	年間行事	行事食
4月	花見・喫茶ツアー	花見弁当
5月	新緑散策・工場見学ツアー	駄菓子パーティ
6月	アジサイ鑑賞・喫茶ツアー	駄菓子パーティ
7月	七夕・季節飾り作成	流しそうめん
8月	向日葵鑑賞・工場見学ツアー	流しそうめん
9月	敬老会	
10月	コスモス鑑賞・芋ほり	行楽弁当
11月	セントラルパーク外出	
12月	クリスマス会・季節飾りづくり	ケーキづくり
1月	初詣	
2月	梅の花鑑賞・節分豆まき	
3月	ひな祭り・喫茶ツアー	
備考	毎月の誕生日会の実施 訪問美容は1カ月に1回程度実施予定 機能訓練を兼ねた外出は毎月適宜行う 毎月お楽しみ会・イベント行事も適宜実施予定 訪問販売（菜の花）※毎月2回	

4. 主な施設整備・修繕・備品購入等

特になし

地域密着型リハビリ特化型短時間デイサービス

五軒邸清住園デイサービスセンター

1. 運営方針

要支援・要介護高齢者、在宅虚弱高齢者、認知症高齢者に対して通所により、入浴および一人ひとりにあつたりハビリを提供し、心身機能の維持向上を図ると共に家族の方の精神的、身体的負担の軽減を図る。

2. 令和3年度目標

<部署目標>

- 一人ひとりのニーズをアセスメントし、個人に合わせたリハビリメニューを提供する
- 近隣の地域包括支援センターや居宅を訪問し、デイサービスの認知度を上げる努力をし、稼働率・売り上げの向上・安定を図る。
- アットホームな雰囲気作りを心がけ、職員間の連携・統一を図る。

<経営目標>

- ・運営日数

区分		予定日数	運営曜日	運営時間
基本事業		199	火・水・木・金 (除:日・祝・年末年始 12/31~1/3)	9:15~12:30 13:30~16:45
予防通所 介護事業	入浴	199	火・水・木・金 (除:日・祝・年末年始 12/31~1/3)	9:15~12:30 13:30~16:45
	個別機能訓練	199	火・水・木・金 (除:日・祝・年末年始 12/31~1/3)	9:15~12:30 13:30~16:45
通所 介護事業	入浴	199	火・水・木・金 (除:日・祝・年末年始 12/31~1/3)	9:15~12:30 13:30~16:45
	個別機能訓練	199	火・水・木・金 (除:日・祝・年末年始 12/31~1/3)	9:15~12:30 13:30~16:45

運営規模：地域密着型

利用定員 9名×2回

- ・稼働率

○半日平均 5.4名以上 月平均 60%の稼働率

・営業活動

- デイサービスの認知度を上げるため近隣の地域包括支援センターや居宅を定期的に訪問。
- 紹介・見学・初回利用時などには担当ケアマネと密に連絡を取り信頼関係の構築に努める。

<人材育成>

相談員・介護職員

- 毎月の研修資料の内容を把握・理解出来るよう、助言・指導しながら業務に活かしていく。

<地域福祉活動>

- 街の福祉相談拠点となれるよう地域の運営推進会議メンバーの方々との結びつきを強化する。

3. 主な施設整備・修繕・備品購入等

特になし

清住園訪問看護ステーション

1. 運営方針

- ・重症化予防及びリスク管理のもと、きめ細やかな対応と質の高い看護を提供し、在宅療養が長く継続できるようにする。
- ・保健・医療・福祉と連携を密にして、利用者の生活に必要なネットワークサービスが提供できるよう支援する。
- ・地域の関連機関との連携を密にし、選ばれる訪問看護ステーションを目指す。

2. 令和3年度目標

<部署目標>

- ・在宅医療の担い手として使命感・責任感を持ち、専門的な知識、技術の研鑽に努め関連機関との連携のもと継続的な看護を実践する。
- ・人の潜在能力や自律に働きかけ「あなたたちに頼んでよかった。」と言っていただけの看護を実践する。
- ・イキイキと楽しく活動できる。

<経営目標>

○運営日数

- ・営業日：月～金曜日(国民の祝日、12月29日～1月3日は除く)
- ・365日24時間緊急対応

○訪問回数目標

- ・利用者数の定着
看護師は一人につき1日4～5件
- ・一ヶ月利用目標回数240件

<人材育成>

- ・新たな看護知識・スキル及び既存知識等の更新のため、各種研修に参加する
(一人一研修以上参加)
リハビリ、認知症、難病、精神、ターミナル、口腔ケア等研修会(随時)
伝達研修(随時)
- ・ステーション勉強会(3回/年) 内容は事例検討会とする

3. 年間活動計画

月	計画
4月	
5月	看護協会・訪問看護事業協会等研修会
6月	
7月	看護協会・訪問看護事業協会等研修会
8月	
9月	看護協会・訪問看護事業協会等研修会
10月	
11月	看護協会・訪問看護事業協会等研修会
12月	
1月	
2月	看護協会・訪問看護事業協会等研修会
3月	
備考	保健医療福祉挨拶回り 随時（広報活動） 他訪問看護ステーションとの合同勉強会 随時 中播磨訪問看護ステーション連絡会（4回/年）

4. 主な施設整備・修繕・備品購入等

特になし

居宅介護支援事業所清住園

1. 運営方針

利用者の心身の状況や家庭環境等を踏まえ、介護保険法その他関係法令に基づき、関係する市町村や事業者、地域の保健・医療・福祉サービス等と綿密な連携を図りながら、利用者の要介護状態や悪化の防止のため、総合的な支援の提供に努めます。

2. 令和3年度目標

<部署目標>

- ・ニーズに対して根拠が明確でなおかつ自立支援を目指したケアプランを作成する
- ・地域における総合的な支援を行う窓口として、相談しやすい環境づくりを行う
- ・感染症や災害時のリスクマネジメント体制をつくっていく

<経営目標>

○運営日数

営業日：293日 月～土曜日(国民の祝日、12月29日～1月3日は除く)

○稼働率

介護支援専門員3名に対して

担当可能件数：要介護105件・要支援24件

目標稼働率：90%(介護給付のみ)

目標件数： 要介護94件・要支援20件

<人材育成>

- ・いつでも相談できる環境の中で、相互に高め合っていける関係をつくる
- ・内部の勉強会を持ち回りで担当し、担当した分野の理解力を深め、指導的役割を担う

<資質向上>

- ・内・外部研修に参加して学んだ事を全員で共有できるようフィードバックしていく
- ・他事業所との合同事例検討会を定期的を開催する

<地域福祉活動>

- ・地域包括支援センター、地域関係者からの困難事例の受け入れ
- ・地域包括支援センター主催の研修会に参加

姫路市四郷・東地域包括支援センター

1. 基本方針

- ・人が健康であり続け自分自身で生活を維持できること、また、支援が必要となってもその人らしい生活を継続できることは、尊厳ある生涯を考えるうえで大切である。
- ・地域住民の自主性や主体性にに基づき、特性に応じて「住まい」・「医療」・「介護」・「予防」・「生活支援」が一体的に提供される地域包括ケアシステムを構築していくため、いろいろな資源を組み合わせていくことが大切と考える。
- ・民間に委託された公益事業であることを踏まえて活動する。
- ・事業計画の評価を行ない、質を高めるための努力を誰もが惜しまない。

2. 令和3年度目標

<部署目標>

- ・「地域包括ケアシステム」の構築に努め、地域の関係者や関係機関との目的等の共有を図っていく。
- ・総合相談をワンストップ窓口にできるよう努め、資源の統合を図る。
- ・在宅生活を安心してサポートできる専門的知識の研鑽とネットワーク作りに努める。

<経営目標>

- ・自前プランをできるだけ持つようにし、プランナーの担当を制限枠いっぱいとする。
- ・地域包括支援センターとしての経営自立を目指す。

<人材育成>

- ・外部研修にもできるだけ参加し、関連した技術や制度についての正確な情報を学び、センター内職員と共有し研鑽に役立てる。
- ・センター内の勉強会及びカンファレンスでの年間研修計画に基づき、相談業務のスキルアップおよび地域の啓蒙活動等を効率的にできるよう、技術の向上を図る。
- ・パソコン操作技術および業務記録をより確実なものにする。

<地域福祉活動>

- ・地域の保健・医療・福祉サービスやボランティア活動などの社会資源を十分活用できるよう継続的な支援をし、体制を整えていく。
- ・総合相談支援業務・権利擁護業務・包括的継続的ケアマネジメント支援業務など、姫路市から委託された地域包括支援センター業務を着実に遂行できるように努める。
- ・介護予防および健康の維持・増進に向けて取り組み、地域で認知症の理解を深めるための啓蒙活動を行い、高齢者にやさしい地域づくりを進めていく。
- ・認知症の程度に応じた医療や介護の情報提供を行い、介護者への支援を行う。
- ・多様な参加の場を支援し、地域住民との連携を定着させる。

3. 年間活動計画

月	計画
4月	各機関・新役員への挨拶 介護予防教室の計画 小中学校への挨拶 機関紙の発行 自治会への挨拶
5月	認知症予防教室開催 圏域連絡会議 東ブロック研修
6月	医療機関への挨拶 介護者のつどい
7月	認知症サポーター養成講座 東ブロック研修 機関紙発行
8月	機関誌発行 圏域連絡会議 事業所挨拶 (1)
9月	東ブロック研修 金融機関・事業所挨拶
10月	地域相談会 (金融機関等) 機関紙発行
11月	機関誌発行 介護者のつどい
12月	介護予防教室 事業所挨拶 (2)
1月	各機関新年挨拶 新年度活動計画立案 機関紙発行
2月	東ブロック研修 R3年度評価
3月	役員交代等の情報収集等
備考	随時、いき百立ち上げ支援 認知症サポーター養成講座等

4. 主な施設整備・修繕・備品購入等

デジタル・カメラ 30,000円